



長野県篠ノ井高等学校「3つの方針」

生徒育成方針(DP)

自分の言葉で志を語り 夢を形にする生徒

- ☑ 言語・ICT活用(パソコン、タブレット等)能力を身に付け、変化に対応できる力
- ☑ 地域・大学との協働に主体的に参加し、自ら提案し発信できる力
- ☑ フィールドワーク・国際交流を生かし、SDGs(持続可能な開発目標)などの課題解決に取り組む力

教育課程編成・実施方針(CP)

① 言語・ICT活用能力を伸ばすために

- 【全教科】で、電子黒板やタブレット等のICT環境を整備し、積極的にICTを活用した授業を行います。
- 【全教科】で、協働学習により思いや考えを共有し、言語感覚やコミュニケーション能力を高めます。
- 【国語】では、全ての学びの基本である言語力を磨き、バランスの取れた総合的学力を養います。

② 自ら発信し提案する力を伸ばすために

- 【英語】では、プレゼンテーション・ディベート・ディスカッションなどにより、「英語による発信力」を伸ばします。
- 【情報】では、情報技術を活用し、校内発表会などを通して、ICTを活用したプレゼンテーション力を高めます。

③ 課題解決に取り組む力を伸ばすために

- 【地歴・公民】では、資料や調査、議論などを通じて、分析・考察し、社会的な諸課題の解決策を探ります。
- 【数学・理科】では、論理的、科学的に考察し、得られた結果を問題解決に生かせるよう探究します。

☞ ①～③を実践するための探究的な学び

学年	教科の学び	探究的な学び		つきたい力	
3年	思考力、判断力、表現力を高めるために、科目の単元に探究活動を取り	SDGsに基づいた、探究的な学びに取り組みます。	・探究の成果を、進路と関連付けてまとめる。	・フィールドワーク ・意見のまとめ ・小論文	・論理的思考力 ・発信する力
2年			・県内外でのフィールドワーク (南三陸町・筑波研究都市・マレーシア大使館・UNICEF等 *R1実践例)	・信州大学、長野高専、地域との連携	・コミュニケーション能力、英語4技能
1年			・国際交流 (マレーシア研修・留学生との交流・通訳ボランティア等 *R1実践例) ・篠ノ井学 (地域のフィールドワーク)	・探究課題の発表会を実施	・課題設定、データを活用する力

【1・2年】教科学習と体験活動をもとに、探究的な学びを充実させるために、Wi-Fi環境を整備しました。

生徒募集方針(AP)

- 身近なことから世界の問題まで幅広く興味・関心をもっている生徒
- 多様な人々とコミュニケーションを図るため英語の習得に意欲がある生徒
- 課題解決に向けてチャレンジしようとする生徒

篠ノ井高校はそんなキミを応援します。一緒に学びましょう。